

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学各論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	福土暁也・仲村剛 岩村一成・林了大・澤 卓実	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
骨折・脱臼の総論・各論						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 100% 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
次回授業内容を確認するため、第1回目授業時に授業計画を配布することにより、学生は事前学習を行うとともに小テストなどで確認する						
《履修に当たっての留意点》						
疑問点は質問し、日々の反復復習をしっかりと行ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	顔面の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	顔面の骨折			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢帯の解剖が理解できる 肩甲骨・鎖骨の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	肩甲骨・鎖骨の骨折			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕骨近位部の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	上腕骨の骨折①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕骨骨幹部・遠位部の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	上腕骨の骨折②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕骨近位の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	前腕骨の骨折①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕骨遠位部の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	前腕骨の骨折②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	手指の骨折が理解できる 各骨折の固定法が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	手指部の骨折		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊椎骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	脊椎の骨折		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨折が理解できる 骨折の転位に関する筋と特徴的な骨折を理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	骨盤の骨折①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨折が理解できる 骨折の転位に関する筋と特徴的な骨折を理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	骨盤の骨折②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	大腿の骨折①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	大腿の骨折②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	下腿の骨折①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿の骨折が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	下腿の骨折②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	足部の骨折が理解できる 足部の解剖、足根骨の解剖が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	足部の骨折		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学各論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	福土暁也・仲村剛 岩村一成・林了大・澤 卓実	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
骨折・脱臼の総論・各論						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
次回授業内容を確認するため、第1回目授業時に授業計画を配布することにより、学生は事前学習を行うとともに小テストなどで確認する						
《履修に当たっての留意点》						
次回授業内容を確認するため、第1回目授業時に授業計画を配布することにより、学生は事前学習を行うとともに小テストなどで確認する						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	顎関節の脱臼を理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	顎関節の脱臼			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	鎖骨の脱臼が理解できる 鑑別診断に必要な疾患を列挙することができる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	鎖骨の脱臼			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節の脱臼を理解することができる 整復法の種類と手順が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	肩関節の脱臼①			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節の脱臼を理解できる 反復性脱臼のメカニズムが理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	肩関節の脱臼②			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節の脱臼が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	肘関節の脱臼			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	手部の脱臼が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	手関節・手指の脱臼①		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	手部の脱臼が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	手関節・手指の脱臼②		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節脱臼が理解できる 外観、症状を理解することができる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	股関節の脱臼①		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節脱臼が理解できる 合併症、整復法、鑑別診断が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	股関節の脱臼②		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節の脱臼が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	膝関節の脱臼①		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節脱臼が理解できる 合併症を理解できるようになる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	膝関節の脱臼②		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	足関節部の脱臼が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	足部の脱臼		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	足部の脱臼が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	ショパール関節・リスフラン関節脱臼		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	足指の脱臼が理解できる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	足指の脱臼		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修内容をまとめ、国家試験同等の問題が解けるようになる	配布プリント 柔道整復学・理論 柔道整復学・実技	事前に教科書(範囲)を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	まとめ		